

知多市教育委員会と知教労との話し合いまとめ

2017年10月10日16時～

知多市教育委員会

小宮教育長 榎内指導主事 阿部指導主事

知多地方教職員労働組合

岩澤副委員長 市野書記次長 岡崎書記長

1. 愛知県教員の多忙化解消プランについて

ア) 県教委の動きと知多市教委の見解。

市教委（以下「市」） 県は小中高各1校ずつを多忙化解消のモデル校としてやっている。知多市独自のプランは教育長、校長、保護者代表も入れて話し合い、部活も含めて2月に出す。

イ) 部活指導にかかわる負担の軽減について

市 平日1日、土日どちらか休みは大原則。休日に大会があった場合は次の週休みにして振り替える。休日の活動は半日にするようには指導していない。小学校のサッカー大会を冬だけにした。バスケットも年1回の方向で考えたい。

組 学校によって部活の規約にばらつきがある。

市 休日の規定が生徒や保護者まで伝わっているかは確認していない。検討会議を今年度から始めた。朝部活を廃止してよいのか、冬の部活がゼロになるのはよいのか等、検討している。

組 朝練をやめ土日を減らせば月に36時間も減らせることになる。豊橋市は朝練を止めたので100時間越えがすごく減った。マネジメントとはそういうもの。ある中学教員の超勤は、運動部担当で150時間、文化部で土日をやらなくて60時間、部活なしで40時間となった。部活は学習指導要領どおりにやり、小中体連が大会をやめなければ、参加しなければいい。複数校で1つの部にするとか、減らすとかの対応も含めて話題にしてほしい。

市 部活が長いのは数字的に出ているので当然やっていく。後は時間を生み出すような軽減をしていきたい。親の了承を得ながら理解を進めながらやっていきたい。

組 人生を豊かにするための部活動にしたい。

ウ) 学校マネジメントの推進について

組 何を減らして多忙化を解消するのか。

市 通知表所見を3学期のみとする全市統一の提案をしたり、新知小は昨年から掃除を2日に1回にしたりした。朝打ちも、週1～2回にしたり、C4thの連絡のみにしてやめにしたりなど考えている。負担軽減のため小学校のキャンプをやめて防災キャンプにしようと言ったが、「多忙化解消だけでなく教育効果のことも考えていただきたい」と言われる。大規模校に掛け持ちの拠点校方式になるが、校長の要望で養護教諭を市独自でつけることを考えている。

組 やりたい人がいても、法律に則って「でも減らさないといけない」というのがマネジメント。削減していった意識を変えていくべき。

市 校長などの意識も変化が見えだしている。

組 新田小は去年と同じく4月に100時間、80時間が1人もない。4月に1人も80時間越えがないのは、県下で1校かもしれない。どんな学校経営をしているのか教えてほしい。中教審の提言にあるようにタイムカードと、管理職による確認が不可欠。

市 わかった。伝えておく。

組 学校訪問が負担になっている。

市 1学期に行う学校は略案にし、2学期の学校は夏休みがあるから本格的な指導案を書くというのでもいいかなと思う。1学期は負担だろうし、どこまで進むかも見通しにくい。

組 知多市は若手教員研修は時間内にやっているようで、すばらしい。

市 予算化して位置づけてやっている。

組 留守番電話はどうなっているか。

市 留守電とタイムカードは試算している。

組 学校にも業務時間があると知らされていない。周知してから留守電を入れないとけない。

組 市や校内の衛生委員会の話が職員に伝わらない。超勤を減らすためにどうするかということまで話し合っしてほしい。

市 必ず職員にフィードバックするように話をする。

組 現場の教員は全然知らない。周知をしっかりとさせてほしい。知多市の多忙化解消プランを作っても研修を行うなどしないと変わっていかない。校長・教頭・教諭に労働法制の研修もしいといけない。

2. 労働条件整備について

組 パワハラ指針を見たこともない若手もいる。

市 新知小は職員室に貼ってある。毎回、校長には話をしているが、周知する。

組 インフルエンザ予防接種は、補助を半田、東海はやっている。

市 A型もB型も効くワクチンになって、値段が倍になった。

組 妊婦も増えてきたので考えてほしい。

3. 教育条件整備について

組 ICT設備が文科省の基準を満たしていない。

市 トイレ工事はまだ中学校が残っている。そのあと考えることになる。エアコンは市長が一番の公約にしたので入るだろう。市長はICTも言及している。

組 エアコンで教育予算が削られないか心配である。

市 知多塾などとも相談し、わからない子の補助に英語のボランティアをつけようと考えている。

組 英語の15時間を総合でとると聞いているが。

市 1年目の様子を見て導入をどうするかを考えていく。

組 早期には実施しないようにしてほしい。

市 エアコンで授業時数の確保もできるかもしれ

ない。タブレットなどは補助金がないと踏み切れない。タブレットは全員必要なら個人持ちになるかもしれない。教務校務事務さんも予算の要望会議には出てもらって現場の声が反映するようにしている。文書で意見を聞いてもらえばよい。

組 武豊町のように就学時検診は学校の教員の業務から外せないか、授業時数の確保につながる。

市 医師の確保に難しさがあるが、担当に伝える

4. 自由で民主的な教育内容の保障について

組 労働法制を教える教育が小中高どこにもない。働く権利を教えられないままブラックバイトや職場につくことになる。職場体験はまだ続けるのか。

市 キャリア教育についても教育委員会で話題にしたい。体験をしたい子はする、そうでない子は別のことをするというように学校ごとに緩やかにするのは目指せるが、やめるのは難しい。4月だったのを6月に手続きをできるようにした。

組 「知多の友」等は（教科）担任が決められるようにしたい。副教材を作る負担は減らせるはず。やめるのは県の多忙化解消プランが出た今がチャンス。

組 新指導要領に反対していただきたい。しわよせは子どもと教員にくる。不登校は必ず増える。

市 動きは今のままだろうから、どうするかを考えないといけない。

お忙しい中、今年も長時間にわたり、くわしく話していただきました。